県PTA広報 とっとり
平成29年8月30日
77号

受け止めよう子どもたちを 応えよう子どもたちに

～背中で顔で、大人の本気見せましょう!～

鳥取県PTA協議会
会長 **大呂 延幸**

皆様には、日頃より鳥取県PTA協議会の活動にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。当協議会は、鳥取県内の小学校・中学校PTAが一体となり、教育振興上の諸問題を研究討議し解決に向けた取組みや教育施策への提言を行うとともに、単位PTAや各PTA連合会の育成、児童生徒の福祉を増進することを目的として活動しております。

今年度のスローガンを「受け止めよう子どもたちを 応えよう子どもたちに」～背中で顔で、大人の本気見せましょう!～とし、子どもたちの健全育成に向け様々な事業を展開しています。その一つで昨年度より準備をしてまいりました〝子どもの 子どもによる子どものためのサミット〟『とっとり子どもサミット』がスタートいたしました。まだまだ試行段階ですが、初回サミットでは小学校三年生から中学校三年生までの児童生徒が一堂に会し、個々の意見を尊重しながら解決に向け話し合いをする姿に頼もしさを感じるとともに、端々に見える洞察力の鋭さに驚かされました。子どもたちが導き出す結論がどのようなものになろうとも、我々大人はそれをしっかりと受け止め、前向きに且つ真剣に応えていくことが大切となります。

また、新しい試みとして、県下の「幼保」「小中」「高」PTAの縦の繋がりを深める取組みをはじめています。まずは県P、高P連を中心に交流を深め、縦の繋がりを意識し連携していくことで、子どもたちの成長過程を区切ることなく、幼保から高校まで一貫した保護者目線での健全育成の検討を進めてまいります。縦がしっかりと繋がっていくことで「小一プロブレム」「小四ビハインド」「中一ギャップ」「高一クライシス」等の問題の本質改善に向けた取組みも見えてきます。

今の時代、情報通信機器の急激な普及によるネット問題、いじめ問題、貧困問題、不登校、虐待など、一家庭だけで全ての問題を解決していくことは困難になってきています。このような時代であるからこそ、単位PTAや連合会の垣根を越え、県全域を繋げ問題解決に臨む県Pの活動が強く求められています。私たちは皆様の力をお借りしながら、県Pというスケールメリットを活かし、鳥取県の子どもたちのためにできることは何か、県Pとしてなすべきことは何かを考え、皆様の一助となるよう日々努めているところです。

加えて今日、学校現場でも、教員勤務実態調査で明白となった教員多忙化問題、外国語教育等学習指導要領改訂に伴う負荷、いじめの防止等のための基本的な方針改訂へ向けた対応、デジタル教科書を見据えたICT環境への対応など、様々な対応が教職員に求められており、今や学校現場ですべてに対応できるとは思えない状況です。学校の問題は、子どもたちの問題に直結します。他人事ではありません。これらの課題を一つ一つ乗り越え、子どもたちが充実した学校生活を送り続けるためにも、私たちは家庭・学校・地域・行政で手を取り合い、連携・協働して子どもを育てる環境づくりをしていくことが大切な時代となってきています。今後も皆様のより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

おわりに…。子どもは誰が育てるのか?学校ですか、行政ですか?進学先、就職先が最終ゴールではないはずです。どんな大人に育てたいのか、人としてどうあってほしいのか、いかに生きてほしいのか。未来を見据え、しっかりとした目的意識をもって、子育てをしていきたいものです。

平成29年度 鳥取県PTA協議会役員

役職	氏名	所属
会長	大呂 延幸	八頭郡小中学校PTA連合会（八頭町立八東小学校PTA）
副会長	福壽みどり	鳥取市中学校PTA連合会（鳥取市立福部未來学園中学校PTA）
副会長	南家 充明	境港市中学校PTA連合会（境港市立第三中学校PTA）
副会長	足羽 利幸	東伯郡中学校PTA連合会（湯梨浜町立東郷中学校PTA）
副会長	杉本 仁詞	県小学校校長会会長（鳥取市立美保小学校）
副会長	小椋 博幸	県中学校校長会会長（倉吉市立東中学校）
ブロック代表理事（総務委員長）	河上 賢一	鳥取市中学校PTA連合会（鳥取市立西中学校教育振興会）
ブロック副代表理事（総務副委員長）	山田 康子	鳥取市小学校PTA連合会（鳥取市立湖南学園小学校PTA）
ブロック代表理事（広報委員長）	衣笠 優子	倉吉市中学校PTA連合会（倉吉市立鴨川中学校PTA）
ブロック副代表理事（広報副委員長）	星見 旗司	倉吉市小学校PTA連合会（倉吉市立上灘小学校PTA）
ブロック代表理事（研修委員長）	秋藤 寿樹	米子市小中学校PTA連合会（米子市立淀江小学校PTA）
ブロック副代表理事（研修副委員長）	若月美和子	日野郡小中学校PTA連合会（日南町立日南中学校PTA）
監事	橋本 恒	岩美郡小中学校PTA連合会（岩美町立岩美中学校PTA）
監事	津島 望	東伯郡小学校PTA連合会（北栄町立北条小学校PTA）
監事	田中 英也	西伯郡中学校PTA連合会（南部町立法勝寺中学校PTA）

平成29年度 県P年間スケジュール

月	内容
4月	年度監査会　三役会　理事会 広報紙コンクール本審査
6月	平成29年度鳥取県PTA協議会総会 平成29年度鳥取県PTA指導者研修会（東部、中部、西部） とっとり子どもサミット（東部） 三役会　理事会
7月	三役会
8月	教育懇談会 とっとり子どもサミット（中部） 第65回日本PTA全国研究大会仙台大会 県PTA広報とっとり第77号発行 鳥取県PTA広報誌コンクール 優秀広報誌集作成
9月	三役会　理事会
10月	三役会
11月	第47回日本PTA中国ブロック研究大会広島県ふくやま大会 県PTA広報とっとり第78号発行 理事会
12月	平成29年度鳥取県PTA研究大会 とっとり子どもサミット（西部）
2月	三役会　理事会
3月	県PTA広報とっとり第79号発行

☆年間を通しての取り組み
- いじめに対する取り組み
- メディア21:00運動
- PTAの手引き作成
- 知事・教育委員会へ要望書作成

CONTENTS

このロゴマークは八橋小PTAの中本優紀さんのデザインによるものです

【P1】
・県P会長あいさつ
・H29年度役員紹介
・平成29年度県P年間スケジュール
【P2】
・PTA指導者研修会
【P3】
・とっとり子どもサミット開幕!!
～子どもの　子どもによる
子どものためのサミット～
【P4】
・H28年度鳥取県PTA広報紙コンクール受賞校一覧
・H28年度日本PTA国内（沖縄）研修事業
・編集後記

編集・発行
鳥取県PTA協議会
事務局
〒680-0846　鳥取市扇町21
県民ふれあい会館内
TEL：0857-21-2285
FAX：0857-21-0906
E-mail:tori-pta@gamma.ocn.ne.jp
http://www.tottori-pta.net/

ＰＴＡ指導者研修会

開催趣旨

1、家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるＰＴＡの役員を対象に、指導者としての資質の向上を図る

2、この研修により、これを役員から各単位ＰＴＡに研修内容を広げていき、ＰＴＡ活動の活性化、子ども達の基本的生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

統一テーマ

今回は、各ブロックの統一テーマとして、「ＰＴＡを円滑にすすめるための会議運営方法と必要なファシリテーション技術について」と題し、島根大学保健管理センターの荒川長巳(おさみ)教授よりご講義いただきました。

普段私達が、ＰＴＡ関係のいろいろな会議に参加するときに、

●いつも同じ人ばかり発言している。
●一言も発言しない人がいる。
●一方通行の事務連絡になっている。

など、活発とは言い難い状況に頭を悩ませることも多いのではないでしょうか。

その問題解決の手法として

①何のために会議を開くのか
②何をどこまで決めるのか
③時間配分、議題・内容、進め方を提示する
④ファシリテーター、時間管理係、議事録写真係等役割を決めておく。
⑤会議の進め方についてルールと方針を明らかにする。

などの技術的なアプローチについて詳細に説明いただきましたが、最も教授が強調していらっしゃったのは、「ボランティアである参加者に対し感謝の気持ちをもって接する」ことでした。

ご参加いただいた役員の皆様には、ファシリテーション技術とともに「感謝の気持ち」を持ち帰っていただき、是非今後のＰＴＡ活動に活かしていただくよう祈念いたします。

（副会長　南家　充明）

選択テーマ　人権について（プログラムを利用した参加型研修）

いじめの問題が全国的に大きな問題として取り上げられる中で、人権教育の重要性は日々増している様に思います。

そこで、今年度も昨年同様、県教育委員会人権教育課が作成している「人権教育プログラム（社会教育編）」の紹介を兼ねて、昨年度作成された６つのプログラムの中から１つを選び選択テーマとして取り上げました。

人権教育プログラムは、全てのプログラムが参加型の内容になっていて、楽しくおしゃべりをしながら人権について考える研修になっています。このプログラムを体験していただいて、各単Ｐで人権教育研修会等を開かれる際のテーマ選びの参考にしていただければと思います。たくさんのPTAで活用され、いじめの防止等に役立てていただき、子どもたちの健やかな成長につながることを願います。

このプログラムの活用にあたって、ファシリテーターの派遣等のご相談は、県教育委員会までお気軽にお問い合わせください。　（副会長　足羽　利幸）

独自テーマ　東・中・西部　各ブロック自由選定

東部・西部会場は、広報紙作成について実践発表に学んだり、プロの目線からアドバイスをいただく機会としました。

中部会場は新人会長向けに、先輩会長の成功・失敗談を参考にしながら、PTAってどんなところなのか、どんなふうにしていったらいいのかを考えました。

東部

平成２９年６月１０日(土)
国府町コミュニテイセンター
参加者 147 名

①第１分科会
「年間行事や企画の広報紙での取り上げ方」
講　師：新日本海新聞社取締役専務執行役員
営業事業担当兼営業局長　**田中　仁成** 氏

②第２分科会
「PTA を円滑に進めるための会議運営方法と必要なファシリテーション技術について」
講　師：島根大学保健管理センター
教授　**荒川　長巳** 氏

③第３分科会
「この年頃にありがちなこと
～子育て（親育ち）で大切にしたいこと～」
講　師：鳥取県教育委員会人権教育課より派遣
鳥取県人権教育アドバイザー
とっとり震災支援連絡協議会
事務局長　**佐藤　淳子** 氏

中部

平成２９年６月１７日(土)
伯耆しあわせの郷
参加者　87 名

①第１分科会
「PTA を円滑に進めるための会議運営方法と必要なファシリテーション技術について」
講　師：島根大学保健管理センター
教授　**荒川　長巳** 氏

②第２分科会
「ふつうさぁ・・・」人権教育プログラムより
～多様性・居場所づくり～
ファシリテーター：鳥取県教育委員会人権教育課より派遣
青戸　智子 氏

③第３分科会
「ピンチはチャンス！！」（新人会長さん向け）
講　師：元鳥取県ＰＴＡ協議会
会　　長　**井上　洋子** 氏
前鳥取県ＰＴＡ協議会
事務局長　**浅雄　淳子** 氏

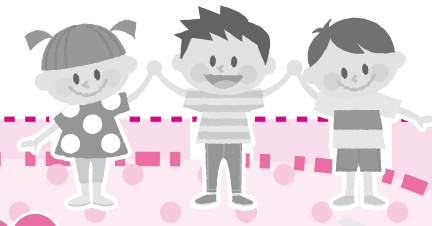
西部

平成２９年６月２５日(日)
米子コンベンションセンター
参加者 101 名

①第１分科会
１、「人権教育プログラム」について紹介
講　師：鳥取県教育委員会　人権教育課
社会教育担当
係長　**寺谷　孝志** 氏

２、「ＰＴＡを円滑に進めるための会議運営方法と必要なファシリテーション技術について」
講　師：島根大学保健管理センター
教授　**荒川　長巳** 氏

②第２分科会
「広報紙作成について」
講　師：新日本海新聞社　西部本社
編集局長　**澤田圭太郎** 氏



参加者の声

統一テーマ　ファシリテーション技術

◎スムーズで活発なＰＴＡ活動ができるように活用したい。
◎意見が出ない、同じ人だけしゃべる状態があるので、アイスブレイクはぜひ使ってみたい。
◎会議の進め方を充実させる手順や段取り、技術をたくさん教えていただき良かった。

選択テーマ　人権教育プログラム

◎普段何気なく使っている「ふつう」について、いろいろな価値観や意見を聞きあらためて、考えさせられた。
◎身近な言葉、事例をグループで考えることができ、また、自分の行動も振り返る事ができた。

独自テーマ　中部：新人会長向け研修

◎「人と人をつなぐ立場」だということを大切にしたい。
◎同じ立場の人の意見を聞き、会長職の不安が少し解消した。
◎行事の見直しの参考になった。部会で役立てたい。

21 時以降は友達を巻き込むような LINE（ライン）やメール、ゲームを止めて相手の時間を尊重しましょう。

とっとり子どもサミット開幕!!

～子どもの　子どもによる　子どものためのサミット～

子ども サミットって??

◆開催に至るまで…

「子どもたちに最善のものを」という思いが、大人の考えの押しつけになってしまっている現状はないか。本当に子どもたちに「最善」を考えるなら、子どもたちが、自らの周りにあるさまざまな問題について、自覚し、本音で議論し、解決のための手段を検討、実施する場を、PTA で準備できないかと考えたのが、「子どもサミット」開催に至る思いです。

私たち大人は。

大人は、子どもたちから
どんな意見が飛び出しても、
否定したり、指摘したりせず、
まずはしっかり受け止めること。
子どもたちを信じ、任せること。
そして、子どもたちが解決方法を
見つけたら、なるべく関与せず、
温かく見守ること。
しかし、それだけでなく、
必要な場面では、しっかり
フォローしていくことを
念頭に置いています。

	日程	場所	内容（例）
①話合い	H29 年 6 月 10 日(土) 13：40～16：00	国府町 コミュニティセンター （鳥取市国府町庁 380）	・アイスブレイク ・スマートフォン・ネットの良い点、悪い点について話し合う
②話合い	H29 年 8 月 5 日(土) 14：00～16：30	倉吉体育文化会館 （倉吉市山根 529-2）	・県で実施したアンケート結果や前回ワークショップの結果から、今後の取り組みを考える
③話合い	H29 年 12 月 2 日(土) 午前(2～3 時間程度)	米子市文化ホール （米子市末広町 293）	・午後からのフォーラムでの発表準備
発表	H29 年 12 月 2 日(土) 午後(3 時間程度)		フォーラムで発表

「とっとり子どもサミット」インターネット編

講師：鳥取県教育委員会　社会教育課　生涯学習推進担当
社会教育主事　**河合淳一氏**

開催への思い

子どもにだって意見はある!!

自分で決めるってどういうことでしょう…

私たちは、日々、あまり意識することなく多くの選択をしています。今日着る服、お昼ごはんに食べるもの、通る道などなど…子どもたちだって、当然そうなのですが、実際は、もう YES か NO か、こっちかあっちか、答えはもちろんそうなるだろうという大方の見解の上に成り立った選択かもしれません。日々の生活で多々ある親との約束事も、対等な話し合いの結果生まれた約束ではないかもしれません。そこで、ここは思い切って、子どもたちに任せてみたいと思います。自分の選択、自分の約束。

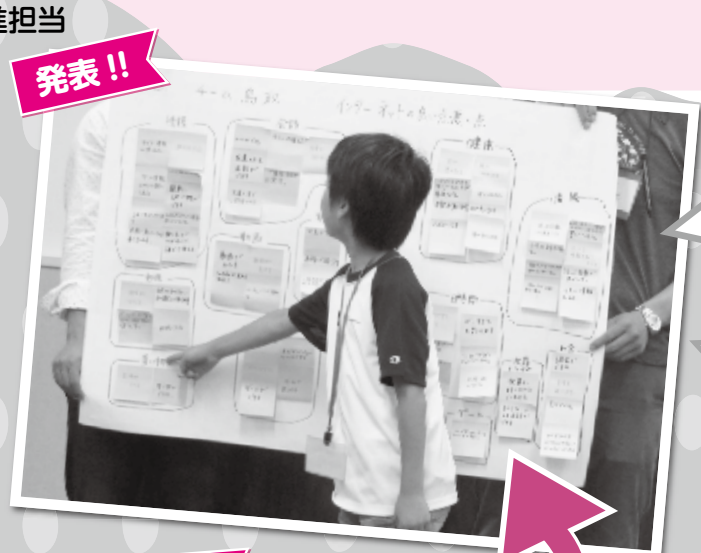
デジタル機器に囲まれて過ごしていても、すべてのものごとを 0 か 1 では決められなくて、0 から 1 までの間のたくさんの可能性を、私たちは生きています。しっかり見つめ、何が問題点かをきちんと考え、どうすればよりよい方向に進んでいけるのか、それを自分たちの頭と心でつかみとる。「子どもの子どもによる子どものための、とっとり子どもサミット」の取り組みが、東部を皮切りに、ついにはじまりました。

話し合いの中で、いろんな思い、いろんな考え、いろんなやり方を知った子どもたちが、折り合いをつけながらどんな結論を導き出すのか、今から、12 月が楽しみです！

子どもサミット特別委員会　委員長　**福壽みどり**

開会

アイスブレイク
～鳥取環境大学の学生さんと～



発表!!

グループワーク

自分と人の考え方は違うことが分かった

学校でポスターを貼りたい

メリット、デメリットがよく分かった

便利だが中毒性や犯罪に巻き込まれる危険性があるので気をつけたい。

利用上の注意を家の人に伝えたい。

今後は

12 月 2 日、米子市で「第 3 回子どもサミット」を開催します。その後、同日開催される「とっとり電子メディアとの付き合い方フォーラム」で、子どもたちが、3 回を通して話し合った結果を報告します。

興味を持っていただいた方、ぜひフォーラムにご参加いただき、子どもたちの成長した姿をご覧いただければと思います。そして、来年は、ぜひお子さんの参加をご検討いただければと思います。

平成28年度 鳥取県PTA広報紙コンクール 受賞校一覧

【小学校の部】

表彰区分	学　校　名	広報紙名	
教育長賞	大山町立大山小学校PTA	カラス天狗	○
県PTA会長賞	北栄町立北条小学校PTA	茶臼山プレス	○
新日本海新聞社賞	大山町立中山小学校PTA	みどりの広場	○
金賞	八頭町立船岡小学校PTA	なんだかんだプレス	○
	米子市立車尾小学校PTA	くずも	○

表彰区分	学　校　名	広報紙名	
銀賞	鳥取市立醇風小学校PTA	醇ＪＵＮＰＵ風	○
	米子市立五千石小学校PTA	ごぜんごく	
銅賞	伯耆町立岸本小学校PTA	わかあゆ	
	米子市立伯仙小学校PTA	はくせん	
努力賞	米子市立住吉小学校PTA	ひろば	
	大山町立名和小学校PTA	なわ	

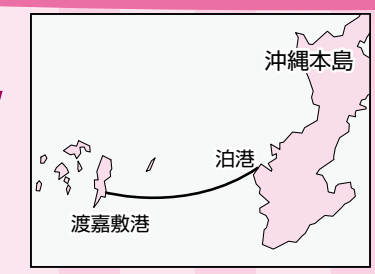
【中学校の部】

表彰区分	学　校　名	広報紙名	
教育長賞	北栄町立北条中学校ＰＴＡ	ＰＴＡ会報	○
県ＰＴＡ会長賞	学校法人鶏鳴学園青翔開智中学校ＦＴＡ	青翔会ＮＥＷＳ	
新日本海新聞社賞	鳥取市立桜ケ丘中学校ＰＴＡ	桜ケ丘	○
金賞	三朝町立三朝中学校ＰＴＡ	かじか	○
銀賞	倉吉市立河北中学校ＰＴＡ	ＫＡＨＯＫＵ	○
銅賞	日野町立日野中学校ＰＴＡ	ほこすぎ	
努力賞	大山町立名和中学校ＰＴＡ	あさなぎ	

○は第39回 全国小・中学校ＰＴＡ広報紙コンクールに出品
（審査は8月下旬予定）

平成28年度日本PTA国内（沖縄）研修事業

青少年の国内交流及び国際交流
体験活動を通じ社会環境や
自然環境への視野を広めよう！



平成29年3月26日（日）～3月30日（木）4泊5日

・研修場所・ 国立沖縄青少年交流の家
〒901－3595 沖縄県島尻群渡嘉敷村字渡嘉敷2760

○研修の目的
1、沖縄県、渡嘉敷村の方々と交流を通じて、多様な文化、平和について理解を深め、多くの人々と共に生きていくための資質や能力を育成する。
2、渡嘉敷村の発展、自然を保護するために活動する人々から学び、地域活動の重要性と環境保護を考える機会とする。
3、沖縄青少年交流の家での集団宿泊活動を通じて、全国から集まる中学生が相互に交流し友情を深める。

○対象者
各県・市地方協議会が推薦する中学2年生男女各1名

体験が未来へつなぐもの

（公社）日本ＰＴＡ全国協議会　理事
鳥取県ＰＴＡ協議会　会長　大呂延幸

『日本ＰＴＡ全国協議会国内研修事業in渡嘉敷島』に全国から109名の中学生に参加して頂きました。日Ｐでは、将来地域の中心的な役割を担う人材となって頂くよう思いを込めて毎年年度末にリーダー研修事業を開催しています。鳥取県は葉狩わか菜さんと山本千華さんのお２人に参加して頂きました。

この研修では体験プログラムを通して、普段の学校生活の中で評価されにくい「他人を思いやる行動」や「互いに励ましあう行動」「自分らしさを素直に表現する勇気と行動」「中学生らしさ」といった面が子どもたちの中で正当に平等に評価されます。これにより、自尊感情が高められ、チャレンジする勇気が生まれ、仲間としての自分の居場所をしっかりと見つけ、成長が加速されていきました。

この体験をそれぞれの地に持ち帰り、仲間を想い、人を支え、学校を支え、地域を支え、未来の地域づくりに貢献できる人間味あふれる人に成長されることを期待します。合言葉は『チャレンジ！』。

八頭町立八頭中学校　３年　山本千華

今回の国内研修で貴重な経験をさせてもらいました。平和学習は多くのことを学べました。集団自決があった場所を訪れ、沖縄戦を経験された方から話を聞くことで、改めて戦争の悲惨さや怖さを感じました。また、海洋研修などのプログラムは楽しかったし、友達もできました。この経験をこれからの生活に役立てたいです。

日Ｐ国内研修in渡嘉敷島に参加して

八頭町立八頭中学校　３年　葉狩　わか菜

今年３月、国立沖縄青少年交流の家で行われた国内研修会（４泊５日）に鳥取県の中学生を代表して参加しました。「チャレンジ」を合言葉に、全国の友達と体験活動（野外炊事・カヌー・スノーケル等）や平和学習で友情を深める中、失敗を恐れず積極的に挑戦することの大切さを学びました。また、「ゆいまーる」（結びつきや助け合い）・「命どぅ宝」〔ぬちどぅたから〕（命こそ宝）といった印象に残った言葉から学んだことも、これからの生徒会活動等に活かしていきたいです。

●編集後記●

広報紙の原稿を書きながらふと思い出した。二番の歌詞が書けないまま、一年以上ほったらかしにしている曲があるなと…書き物ついでに再開しようかなぁ～（笑）
（あ）

愛猫が亡くなってから一年、新しい家族を迎えるべく初めての譲渡会へと行ってみました。そこの猫に一目ぼれし、「この子欲しいです！」
『兄弟がいるから一緒にもらって～♡』
「えっ…二匹!?」
…ということで、二匹の可愛い家族が仲間入りしました☆
（の）

中学校の先生に影響され、子どもと一緒にギターを習い始めて一年三カ月！子どもはどんどんと上達するが、私は悪戦苦闘です。あらためて子どもの順応性と適応力、さらに成長していると感じる日々です。ここで母が簡単に投げ出す訳には。。。。。
（き）

子どもたちの笑顔が大好きです。これからも、たくさんの子どもたちの笑顔を見続けて行きたいと思い活動しています。
「楽しいＰＴＡ」をつくりたいですね。
（ほ）